

令和2年度進行管理・評価シート
熊本市歴史的風致維持向上計画（令和2年6月24日認定）
（最終変更 令和3年〇月〇日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 熊本市歴史的風致維持向上計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 熊本市景観条例・景観計画による誘導	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1-1 歴史的風致形成建造物助成事業	3
1-2 熊本城復旧事業	4
1-3 景観重要建造物・景観形成建造物助成事業	5
1-4 町並み復旧保存支援事業	6
1-5 町屋等活用促進事業	7
2-1 町並みづくり助成事業	8
2-2 道路空間整備事業	9
2-3 空地等活用事業	10
3-1 文化団体への助成事業	11
3-2 伝統技術普及継承事業	12
3-3 地域コミュニティづくり支援事業	13
3-4 くまもと工芸会館管理運営事業	14
4-1 坪井川舟運検討	15
4-2 歴史・文化を活かした観光体験事業	16
4-3 観光周遊促進事業	17
4-4 熊本城及びその周辺をつなぐ周遊バスの運行	18
4-5 川尻米蔵利活用事業	19
5-1 「復興城主」募集事業	20
5-2 歴史文化体験学習事業	21
5-3 歴史まちづくり教育事業	22
5-4 情報発信推進事業	23
5-5 歴史まちづくり調査研究事業	24
5-6 「文化財保存活用地域計画」の策定検討	25
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用の推進	26
2 文化財の防災	27
3 文化財の保存・活用の普及・啓発	28
4 埋蔵文化財の取り扱い	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	30

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和2年度
		現在の状況
熊本市歴史的風致維持向上計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・景観担当部局と文化財担当部局を事務局とした庁内推進体制を設置するとともに、歴史まちづくり法第11条の規定に基づく「熊本市歴史まちづくり協議会」において、計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。
- ・必要に応じて、本市の都市計画や景観、文化財保護等に関する審議会、並びに文化財や歴史的建造物の所有者等と連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年6月の計画認定後、以下のとおり、事務局より計画概要の説明や今後の取組みの説明を行った。

- ・熊本市文化財保護委員会での報告(令和2年7月28日)
- ・重点区域内における地元説明会(令和2年7月3日、令和2年7月6日、令和2年7月17日、令和2年7月29日)
- ・歴史的建造物の所有者に対する説明会(令和2年7月30日)

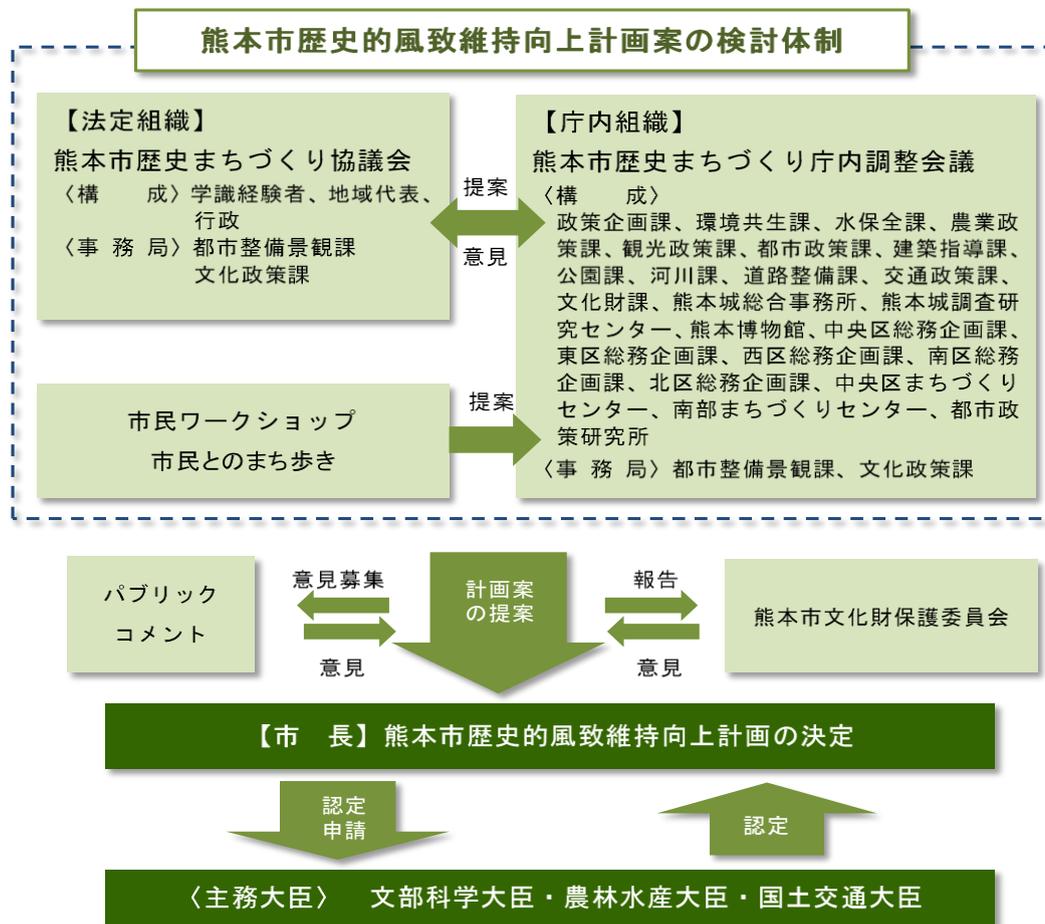
また、計画認定後～令和2年度の進捗状況や次年度以降の取組みについて、以下のとおり、協議を行った。

- ・熊本市歴史まちづくり庁内調整会議(令和3年3月●日)※書面開催
- ・歴史まちづくり協議会(令和3年3月●日)※書面開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、歴史まちづくり法第34条に基づく歴史的風致維持向上支援法人の指定についても検討を進めるなど、より市民との協働による推進体制の構築を図る。

状況を示す写真や資料等

■熊本市歴史的風致維持向上計画の推進体制図



評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
熊本市景観条例・景観計画による誘導	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 平成21年(2009)10月に熊本市景観計画を策定、あわせて熊本市景観条例を制定し、総合的な景観形成を進めている。本市の歴史的風致は市内各所に広がっていることから、事業展開に合わせて景観行政と連携し、歴史的風致の維持向上に努める。
 ・城下町地区は、重点地域「熊本城周辺地域」等に含まれ、市街地と熊本城とのあいだのゆとりある眺望等を保全するため、熊本城を望む視点場及び天守閣からの眺望に配慮した景観形成基準等を定めている。
 ・川尻地区は、「歴史的な街並み地区」として、建造物等の色彩に関し、本地域で推奨する色彩や避けてほしい色彩等を定めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例・景観計画に基づく届出において、景観形成重点地区内の建築物等について、周辺と調和する色彩や意匠とするよう理解を求めた。
 市では、269件(R3.2末時点)の届出に対し、景観形成基準に沿った協議を行い、良好な景観形成に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	屋外広告物については、県及び市職員合同による違反広告物一斉取締りを、例年6月と9月の2回実施している。今年度は新型コロナウイルスの影響により実施できなかったが、次年度より通常通り実施する予定である。

状況を示す写真や資料等

■熊本城周辺地域における景観形成基準の概要及び色彩基準

■景観形成基準の概要(熊本城周辺地域)

対象	景観形成基準の概要
建築物、工作物	位置・高さ <熊本城特別地区> ・海拔50m(熊本城本丸の石垣の高さ)を超えないこと <一般地区> ・海拔55mを超えないこと 等
形態	・建築物等は、地域の雰囲気と損なわない、全体を統一感のある形態 意匠となるように配慮すること 等
色彩	・樹木との関係に配慮し、地域の雰囲気を損なわない「地域で推奨する色彩」を使用するように努めること 等

■熊本城周辺地域で推奨する色彩

	色相	明度	彩度
明灰色	N	8 以上 9 以下	—
中灰色	N	6 以上 8 以下	—
暗灰色	N	3 以上 6 以下	—
明穏色	R・YR・Y系	8 以上 10 以下	3 以下
	GY・G・BG・B・PB・P・RP系		1 以下
中穏色	R・YR・Y系	5 以上 8 以下	3 以下
	GY・G・BG・B・PB・P・RP系		1 以下

■歴史的な街並み地区で推奨する色彩等

■歴史的な街並み地区の地域で推奨する色彩(川尻地区)

	色相	明度	彩度
白	N	9 以上 10 以下	—
明灰色	N	8 以上 9 以下	—
中灰色	N	6 以上 8 以下	—
暗灰色	N	3 以上 6 以下	—
黒	N	3 以下	—

■歴史的な街並み地区の避けてほしい色彩(川尻地区)

	色相	明度	彩度
明清色	R・YR系	6 以上 10 以下	3 以上 6 以下
	Y系		3 以上 4 以下
	GY・G・BG・B・PB・P・RP系		2 以下
暗清色	R・YR系	6 以下	3 以上 6 以下
	Y系		3 以上 4 以下
	GY・G・BG・B・PB・P・RP系		2 以下

評価軸③-1-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物の指定制度を活用するとともに、指定建造物の保存、修景等に係る経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の指定候補30棟全ての指定とともに、指定建造物の修景等に対する助成制度を創設し、歴史的建造物の保存・活用に対する市民や所有者の意識醸成が図られた。
 ・歴史的風致形成建造物の指定:30棟/30棟(100%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重点区域では、指定建造物30棟以外にも歴史的価値を有する建造物が点在していることから、これらの建造物の追加指定に向けて検討を進めてまいる。
--	---

状況を示す写真や資料等



熊本市歴史的風致形成建造物指定証交付式(R2.10.30)



歴史的風致形成建造物銘板(ブロンズ)



歴史的風致形成建造物銘板(シルバー)

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
熊本城復旧事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業／都市災害復旧事業(公共土木施設災害復旧事業)／防災・安全交付金(都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業)／重要文化財(建造物・美術工芸品)修理、防災、公開活用事業／歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業／重要文化財等防災施設整備事業

計画に記載している内容 熊本城の石垣、重要文化財建造物及び再建・復元建造物の崩落・倒壊防止対策を講じつつ、本格復旧に向けた調査・設計・復旧工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国指定重要文化財長堀の復旧工事が完了し、熊本城内の建造物の復旧第一号となった。また、“復興のシンボル”である天守閣の復旧工事と展示内容のリニューアルが令和2年度末までに完了し、令和3年4月からの特別公開第3弾から天守閣の内部を観覧ができるようになる。
 飯田丸五階櫓下要人櫓台石垣の復旧では、震災により変状した石垣の解体調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	復旧が未完了の建造物や石垣を「熊本城復旧基本計画」に基づき計画的復旧を進めていくうえで、今後も国・県との連携を継続していくとともに、文化財保全のための専門委員会との議論を重ね、復旧工事及び調査研究に取り組んでまいりたい。

状況を示す写真や資料等



熊本城天守閣



飯田丸五階櫓下要人櫓台石垣の解体工事



国指定重要文化財 長堀

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物・景観形成建造物助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成11年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業/社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観法及び熊本市景観条例に基づき指定した景観重要建造物や景観形成建造物の保存、修景等に係る経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

助成金に対する相談はあったものの、R2年度に対象となる事業はなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■本市における対象建造物の数

景観重要建造物	景観形成建造物
5 件	1 4 件



景観重要建造物:紫藤邸



景観形成建造物:浜田醤油株式会社

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
町並み復旧保存支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 新町・古町地区、川尻地区において、平成28年(2016)熊本地震により被災した町屋などの伝統的様式建造物(昭和25年(1950)以前に伝統工法で建てられた木造の建造物)の復旧に要する費用を補助し、伝統的様式建造物の保存を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

R2年度は6件の建造物に対し修景助成を行い、熊本地震により被災した町屋などの伝統的様式建造物の保存とともに良好な町並みの形成が図られた。

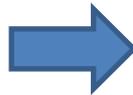
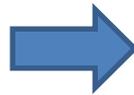
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

復旧前

復旧後



評価軸③-1-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
町屋等活用促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業/熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金/社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 重点区域である城下町地区、川尻地区に残る町屋等を後世に引き継いでいくため、以下の取組み等を検討していく。
 ・町屋等の歴史的建築物を保存・活用していくために、建築基準法の適用を除外する条例を制定するとともに、所有者等に対し、当該条例を活用するための計画書策定に係る費用の一部を助成する。
 ・町屋の利活用のために、地区の不動産業者等と連携し、町屋の貸し手と借り手のマッチングを図る。その際、町屋への居住希望者を対象とした、町屋の見学ツアーや地域住民との交流の場を設けるなど、必要に応じた支援を検討する。
 ・町並みづくりガイドラインの普及啓発等を行い、町屋等の修景促進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

熊本市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例を制定、並びに、熊本市歴史的建築物保存活用計画策定に係る助成金交付要綱を制定し、町屋所有者等に対して、建造物の保存だけでなく活用に対しても意識の醸成を図った。
 また、令和3年3月下旬から4月中旬まで、唐人町通り沿線の町屋(2件)において、道路の前面のみを活用した新たな販売手法を行う実証実験を予定である。(評価軸③-2-2、③-2-3の実験と同時期に開催)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 新型コロナウイルス感染拡大により、実証実験の時期を令和3年2月から令和3年3月に延期した。

状況を示す写真や資料等



条例及び助成金のスキーム



道路に面する部分のみを活用した町屋の実験(準備中)

評価軸③-2-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
町並みづくり助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業/社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 重点区域である城下町地区(新町・古町)、川尻地区において、町屋などの伝統的様式建造物や、一般建造物の保存・修景等に係る経費の一部を助成する。

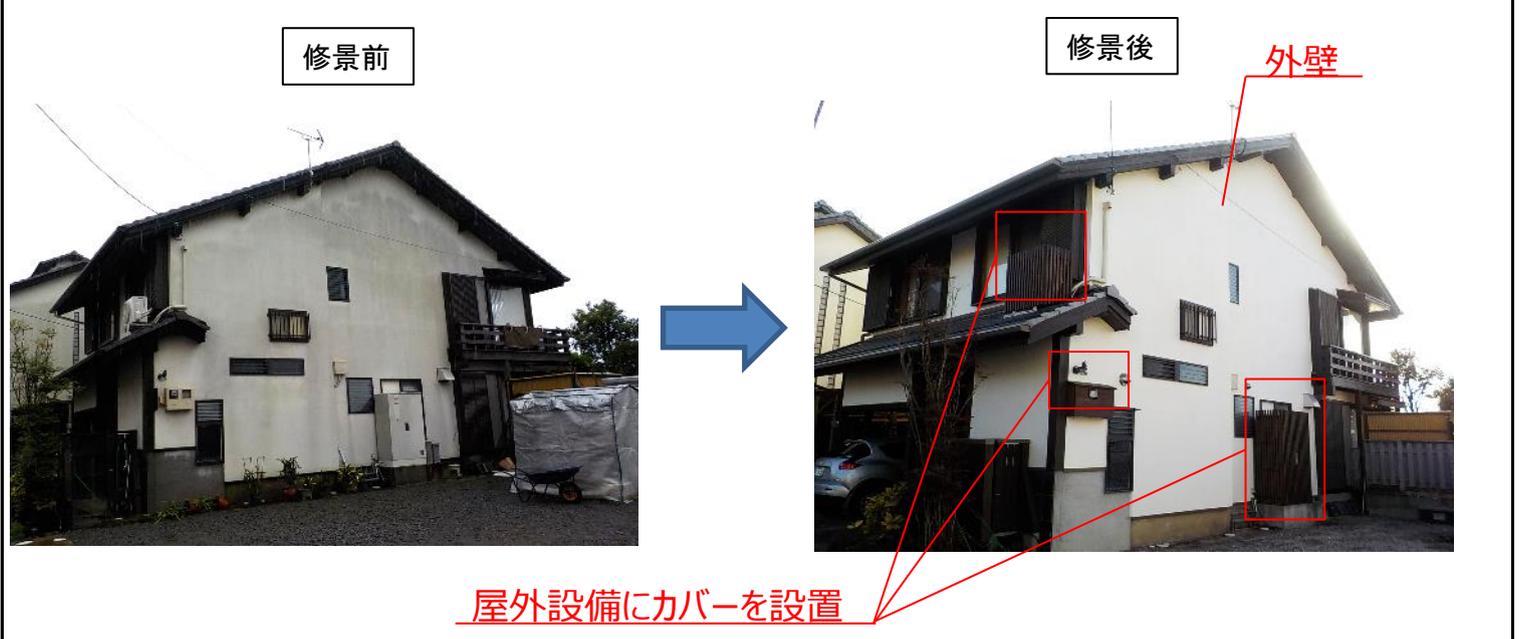
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

R2年度中に3件の建造物に対し修景助成を行い、良好な町並みの景観形成を推進するとともに地域の住環境の向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-2-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
道路空間整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成27年度～令和11年度
支援事業名	市単独事業/社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)/熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金/社会資本整備総合交付金(まちなかウォークブル推進事業)
計画に記載している内容	地域住民との協議や現地調査等を実施し、歴史的な建造物が建ち並ぶ通りや祭礼等のルートなどのうち、特に歴史的な町並み景観の向上が必要となる通りを選定し、その町並み景観の向上を図るための道路美装化等の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

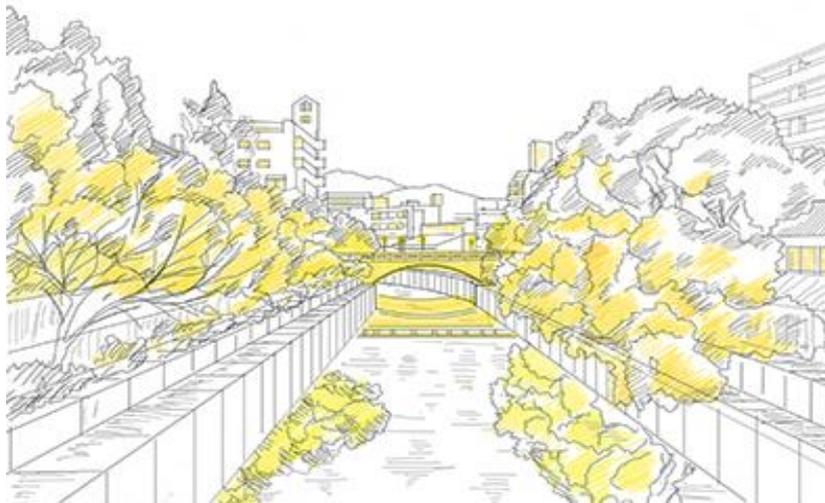
令和3年3月下旬から4月中旬まで、明八橋周辺においてライトアップの実証実験を予定である。(評価軸③-1-5、③-2-3の実験と同時期に開催)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染拡大により、実証実験の時期を令和3年2月から令和3年3月に延期した。

状況を示す写真や資料等



明八橋遠景(新呉服橋から明八橋を望む)



明八橋周辺ライトアップ実証実験のイメージ

評価軸③-2-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
空地等活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業/熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金		
計画に記載している内容	城下町地区や川尻地区の重点区域内に発生した空地について、良好な町並みの創出や、地域の歴史まちづくり活動の活性化に寄与するための利活用方法を地域住民等と協同で検討し、利活用を図る		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年4月上旬に、町屋利活用のネックとなっている家財処分の解決策としての可能性を調査するため、民間駐車場を活用して、町屋等から出た家具や建具等を販売する「蚤の市」の社会実験を行う予定である。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染拡大により、実証実験の時期を令和3年2月から令和3年4月に延期した。		
状況を示す写真や資料等			
			
蚤の市を開催する駐車場			

評価軸③-3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化団体への助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市に残る神楽・獅子舞など歴史ある貴重な伝統芸能等の保護育成に係る費用の助成を、必要に応じて有識者の指導・助言を得ながら実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形文化財や無形民俗文化財の担い手育成促進のため、令和2年度(2020年度)には神楽や獅子舞等の保存継承活動を行う10団体へ活動費助成を行った。(1団体50千円)
 なお、例年助成している団体のうち、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動を自粛している4団体へは活動費助成を行っていない。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

貴重な伝統芸能等を後世に継承していくためには若い世代が触れる機会を創出することが重要であるため、中学校や小学校等で披露する場を設けていきたい。

状況を示す写真や資料等



伝統芸能等の保存継承団体へ活動費助成を行い、後継者育成を図った。

評価軸③-3-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
伝統技術普及継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	・祭礼用の獅子頭の制作等にも用いられる伝統技術の継承や伝統工芸品産業の振興のため、必要に応じて有識者の指導・助言を得ながら後継者育成やPR、伝統工芸出張講座をくまもと工芸会館と連携を図りながら実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・年間工芸教室による伝統工芸品の制作などを通して、後継者育成に取り組んだ。 R2年度登録者数 肥後象がん12名、陶芸2名、竹工芸17名			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		・伝統工芸品を広く周知できるよう、SNSでの伝統工芸の効果的な魅力発信を行うとともに、アーティストが工芸品を展示・販売できる場の提供や伝統工芸の継承につながる取り組みを研究する。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-3-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
地域コミュニティづくり支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地区住民が主体的かつ継続的に行う歴史文化の保全継承や防災などに対する課題の解決のための活動等に支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

南区コミュニティづくり支援補助金を活用し地域が主体となった活動が行われた。
 ・川尻の史跡に案内標識(柱)の新設事業<川尻校区自治協議会:補助金額134千円>

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



高札場と二里木跡

町奉行所と御茶屋跡

川尻の史跡に案内標識(柱)の新設事業

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
くもと工芸会館管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統工芸品づくりの実演や体験を通して、川尻地区および市内の伝統工芸品の振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・伝統工芸品の実演の見学や制作を体験できる教室などを日替わりで実施し、多くの方に伝統工芸品に触れることができる機会を提供した。 ・川尻地区や九州内の作品を展示し、市民が伝統工芸品を身近に感じることができるよう、展示内容を工夫した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・日替わりで実施している実演・体験や企画展をさらに広く周知し、市民が身近に感じることができる広報を実施するとともに、川尻地区の更なる地域振興に寄与することを目指す。		
状況を示す写真や資料等			
			
工芸品展示の様子			
			
工芸品体験教室の様子(竹工芸)			

評価軸③-4-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
坪井川舟運検討	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 城下町地区を横断する坪井川について、外国人などの観光客に対しての体験型の観光ツールとして、舟運に向けた調査・検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年から今年度にかけて通年に渡り坪井川の河川現況調査を実施し、舟運に必要な水路幅や水深の確保、運行可能日数の算出、治水安全及び洪水発生時の安全確保などの課題整理を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



▲水位計の設置



▲流量調査の様子

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
歴史・文化を活かした観光体験事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 地区住民が主体となって、来街者を対象とした地域の社寺等の観光資源を活用した観光ツアーを実施するなど、多様な体験型プログラムの作成・実施を行う。
 また、ボランティアガイドの育成や将来に渡って継続的な活動を行っていくためのスキームの検討等を行う。
 さらに、ARやVR等の最新技術を活かした新たなコンテンツの活用について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

インバウンド需要の回復期を見据え、観光庁の「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」を活用し、滞在時の消費額を引き上げるために外国人観光客向けの滞在コンテンツ(ガイド付きの旅行商品)を造成中。

進捗状況 ※計画年次との対応 <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等



▲専門家を交えた検討会の開催



▲専門旅行者の招へい



▲ガイド育成研修(座学)

評価軸③-4-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
観光周遊促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 来街者の回遊性を高めるため、地区内の周遊を促すルートの検討や、無料Wi-Fiの整備、老朽化した観光案内サイン等の多言語化を含めた更新等を行う。また、周遊ルートにおける自転車用サイン整備や観光レンタサイクルの導入等を検討する。
 公共用地だけでなく、民有地も活用した周遊や観光案内の手法を検討し、観光周遊を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観光客の利便性・回遊性を向上させるため、観光庁の「観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業」を活用した以下の事業を実施。

- ・多言語観光案内サインの一体的整備(中心市街地、水前寺周辺、川尻周辺ほか)
- ・スマートフォン対応観光WEBサイトの言語・機能拡充、AIチャットボットの導入(日本語含み8言語対応)
- ・多言語エリアガイドの制作(日本語含み8言語対応)
- ・熊本駅白川口前広場の無料Wi-Fi設備導入
- ・観光案内所(熊本駅、城彩苑)のデジタルサインエージ整備、非常用電源設備の設置
 ※いずれもR3年3月整備完了予定

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



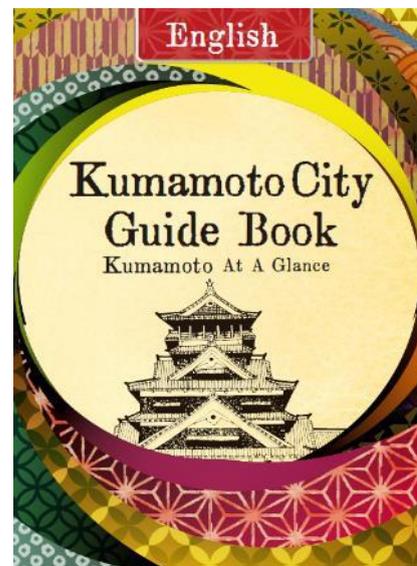
▲ 案内サイン C
 h=1600,w=460
 (内照式)

▲ 参考 まちなか案内サイン
 h=2130,w=600
 (照明なし)
 MN(新設)、MR(改修)、
 MM(移設+改修)

▲ 多言語観光案内サインイメージ



▲ 観光WEBサイトイメージ



▲ 多言語エリアガイドイメージ

評価軸③-4-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
熊本城及びその周辺をつなぐ周遊バスの運行		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～令和11年度

支援事業名 熊本城周遊バス運行事業費補助金(公益社団法人 熊本県観光連盟)/中心市街地活性化ソフト事業(特別交付税)

計画に記載している内容 観光客がバスで気軽に中心市街地を回遊することを目的として、熊本駅を発着とした熊本城及びその周辺をつなぐ周遊バスの運行を実施し、観光客の交通上の利便性を高め、市内観光拠点への円滑な移動を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・ルートの見直しについて、R3春運行予定のループバスとのすみ分けも含め検討を継続。
 ・R2.11月以降EVバスを4便/日運行中。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

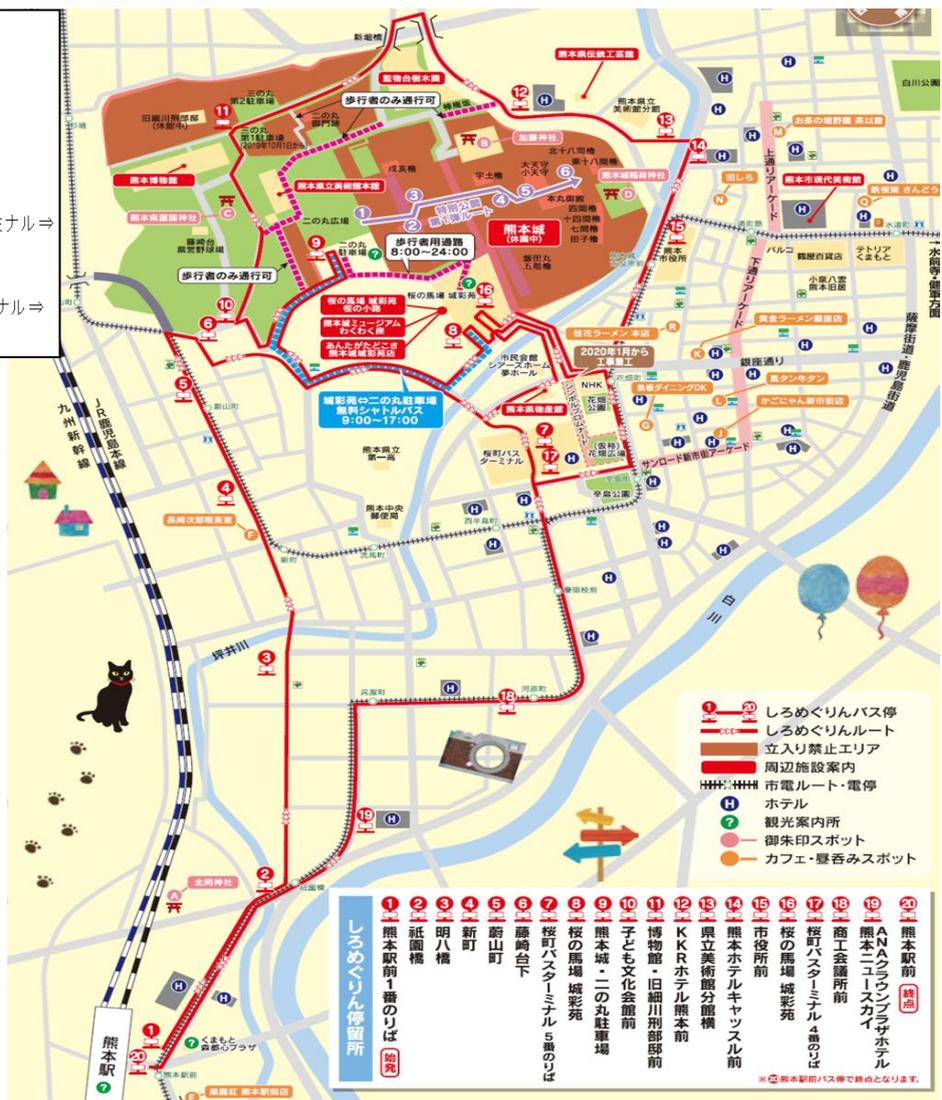
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

事業概要

- 1.運行会社 熊本都市バス株式会社(H28.4.1～)
- 2.運行便数 1日22便
概ね20分間隔(12時台から14時台までは30分間隔)
- 3.所要時間 65分
- 4.運賃 1回の利用 大人:160円 小人:80円
1日乗車券 大人:400円 小人:200円
- 5.運行系統
熊本駅前⇒祇園橋⇒明八橋⇒新町⇒蔚山町⇒藤崎台下⇒桜町バスターミナル⇒桜の馬場 城彩苑⇒熊本城・二の丸駐車場⇒子ども文化会館前⇒博物館・旧細川刑部邸⇒KKRホテル熊本前⇒県立美術館分館横⇒熊本ホテルキャッスル前⇒市役所前⇒桜の馬場 城彩苑⇒桜町バスターミナル⇒商工会議所前⇒ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ⇒熊本駅前

ルートマップ



評価軸③-5-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
「復興城主」募集事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 熊本城への復旧支援として1万円以上を寄付した方を「復興城主」として認定し、城主証や城主手形を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

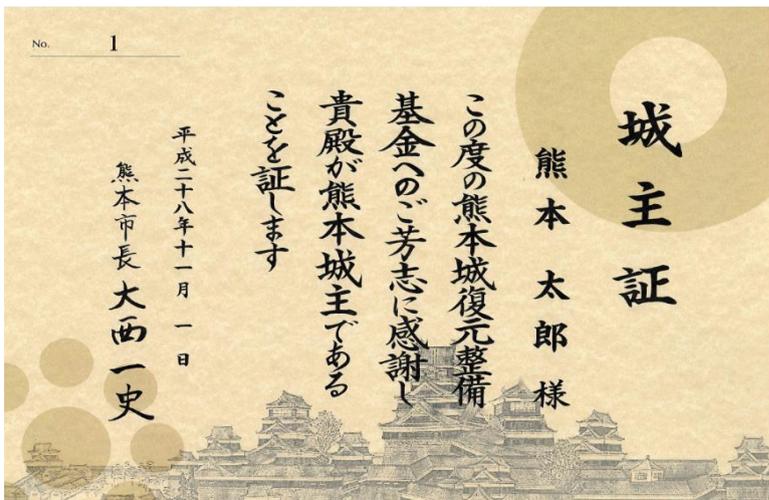
城主として熊本城の復興を応援したいという市民等からの声により、平成28年11月から開始した「復興城主」制度は、令和3年1月までに約24.4億円(約11万件)の寄附が寄せられ、復興に向けて創設した制度が定着してきている。また、返礼品のない熊本城災害復旧支援金も、平成28年4月からの制度開始から、令和3年1月までに約22.4億円(約2.3万件)の支援が寄せられており、寄附制度を通じて熊本城への愛着が高まってきている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

制度は定着しているものの、寄附金額は年々減少傾向にあることから、さらなる広報活動に取り組む必要がある。令和3年度は、熊本城特別公開第3弾を開始することから、「復興城主」制度の周知に取り組んでいきたい。

状況を示す写真や資料等



城主証



城主手形

評価軸③-5-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
歴史文化体験学習事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内の小学生を対象として、歴史的風致を含む歴史文化関連施設を巡るバスツアーなどを実施する。

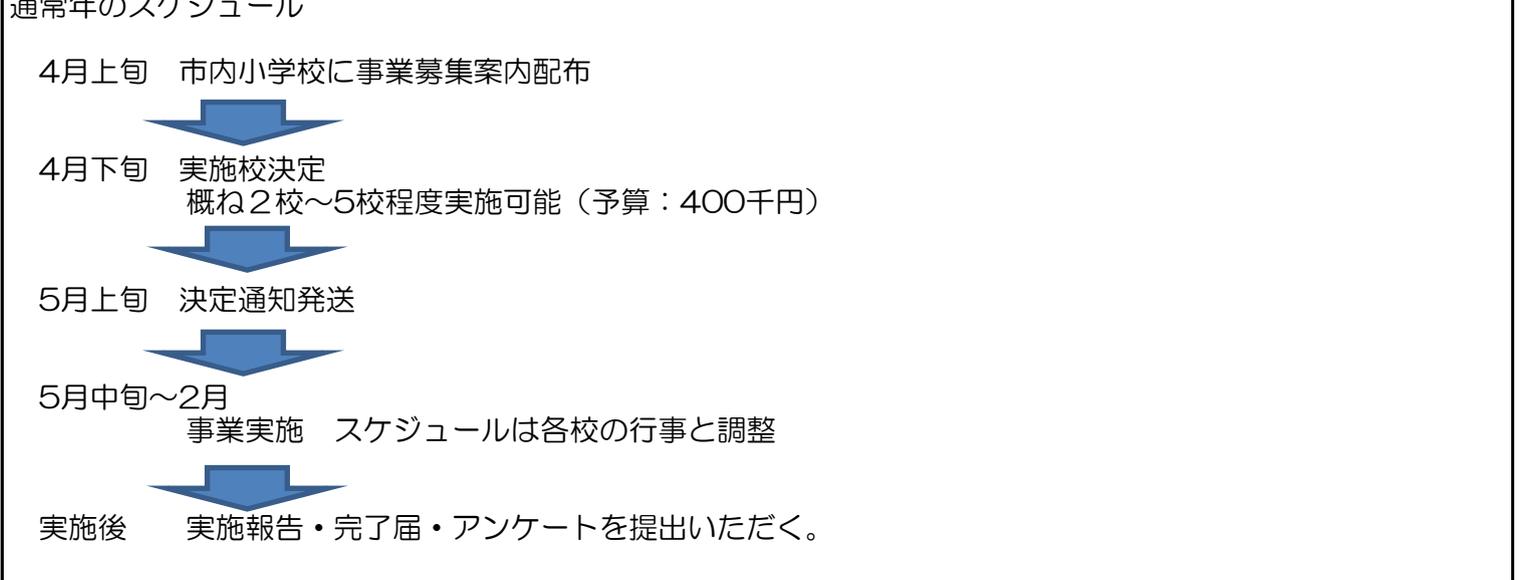
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内小学校を対象に事業実施希望校を募集し、3校の応募があったものの、希望時期に新型コロナ警戒レベルとなっ
てしまい、見学先施設での3密回避のために実施を見合わせた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



モデルコース(概ね半日)
 観光バスで移動

各小学校出発
 ↓
 水前寺地区
 夏目漱石大江旧居見学
 ↓
 水前寺地区
 後藤是山記念館見学
 ↓
 各小学校到着



夏目漱石大江旧居



後藤是山記念館内の旧居

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
歴史まちづくり教育事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和2年度～令和11年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 既存の歴史に関する教材等を活用するとともに、必要に応じて歴史的風致を伝える冊子やビデオ等を作成し、小中学校等の子供たちに向けた、歴史的風致に関する授業やワークショップなどの教育活動を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルスの感染拡大により、小中学校における歴史的風致教育等の実施はできなかったものの、熊本市の維持・向上すべき歴史的風致地区について、熊本市歴史講座で取り上げ、座学とウォーキングを実施し、小中学校の子供たちでも歴史的風致に触れる機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



熊本市歴史講座(R2.10.25 定員20名申込制)



歴史ウォーク(R2.11.29 定員20名申込制)

評価軸③-5-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
情報発信推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業/熊本県新型コロナウイルス感染症対応総合交付金

計画に記載している内容 歴史的風致に対する市民などへの認知度を向上させ、歴史まちづくりへの積極的な参画を促し、後世に引き継いでいくため、熊本城(城彩苑)や熊本博物館などの公共施設を情報発信の拠点とし、各地区の特徴を活かしたSNS・チラシ・マップ作成等による情報発信手法の検討・推進を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

特別見学通路の完成により、熊本城特別公開第2弾を令和2年6月1日から実施した。被災した石垣や重要文化財櫓群が、新しい視点で観覧できることをSNSやチラシ等により情報発信を行い、新型コロナウイルス感染拡大により1月14日で閉園するまで、約26万人が来城した。
 また、本計画の認定を契機に 民間主催の歴まちフォーラムが開催されたほか、同計画のパンフレットや歴史まちづくりカードを作成・配布したことにより、本市の歴史的風致に対する市民の認知度向上が図られた。
 さらに、令和3年1月から、重点区域である城下町地区の観光プロモーション動画制作に着手しており、今後、国内外に向けた発信を行う予定である。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和3年4月から予定している熊本城特別公開第3弾に向けて、SNSやチラシ等により熊本城の魅力を情報発信するとともに、熊本城周辺の施設等と連携のうえ、回遊性の向上を図りたい。
 城下町地区のみならず、同じ重点区域である川尻地区や、その他歴史的風致を有している地域も複数存在することから、これらの地域の情報発信に向けて検討を進める。

状況を示す写真や資料等



特別見学通路上から見た天守閣



歴まちフォーラム(R2.10.10)



パンフレット



歴史まちづくりカード(R2.11.20～配布開始)

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
歴史まちづくり調査研究事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史まちづくりに関する継続的な調査・研究等を行い、歴史まちづくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市全域の地域文化資源を対象とした「熊本市郷土文化財制度」を令和3年1月4日に施行した。8つの歴史的風致に関する文化資源の保存活用団体より申請を受け付けた場合は調査を行い、認定した場合は郷土の宝として顕彰することで、後世への継承促進や、まちづくりへ活用していく。第1回認定は令和3年5月以降を予定している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財に関する法や条例よりも幅広い範囲をカバーする制度であり、文化資源の保存・継承・啓発活動を団体で行っていることが申請の前提条件である。他にも条件があるため、申請を検討している団体へのフォローを適宜行っていく。

状況を示す写真や資料等

令和3年1月4日 制度開始と募集開始

熊本市郷土文化財の募集をスタートします!

～熊本市郷土文化財制度～

- 熊本市郷土文化財制度とは?**
この制度は、地域で大切にされている文化資源を郷土文化財に認定し、地域の宝として顕彰することで、次世代を担う子どもたちをはじめ幅広い世代の市民が、郷土への誇りと愛着を深めることで後世への継承を行い、まちづくりへ活かすことを目的としています。
- 認定されるとどうなるの?**
認定証を交付し、郷土文化財を市のホームページ上で紹介したり、看板を設置する等して市内外に広く情報発信します。また、活動団体の相談内容に応じて保存・活用へ助言を行います。(詳細は裏面Q2参照)
- 従来の文化財保護制度と何が違うの?**
①幅広い範囲をカバー
文化財類型に該当するものだけでなく、地域に根差す生活文化等の文化資源も対象とします。(詳細は裏面Q3参照)
②緩やかな保護制度
従来の保護制度の許可制と異なり、現状変更等は事前の届出によって可能です。(詳細は裏面Q1参照)
③情報発信による活動支援
市役所・区役所でも郷土文化財を広く情報発信して、活動団体を支援します。
- 応募したい地域の文化資源がある場合**
応募は、文化資源の保存・活用を行う活動団体からの受付となります。裏面をご確認の上、応募前に必ず文化政策課にご相談ください。
【お問い合わせ】
熊本市文化市民局 文化創造部 文化政策課(市役所5F)
TEL 096(328)2039
E: culture@city.kumamoto.jp, jp
※事前相談は、必ず5営業日以前お願いいたします。

熊本市郷土文化財制度

Q1. 熊本市郷土文化財と、熊本市指定文化財の違いは?
A1. 主な違いは以下の通りです。

制度の区分	指定等の要件とその目的	制約等	助成等
熊本市指定文化財	市民にとって重要な文化財を指定し、保存活用する	管理費用を現状変更や修繕等に計上が必要	保存修理や防災に係る経費の補助等の支援あり
熊本市郷土文化財	地域で大切にされている文化資源を認定し、後世への継承とまちづくりへの活用を図る	管理の努力義務有 現状変更や修繕等は届出により可能	管理等に必要経費は所有者等の負担

Q2. 財政的な支援はあるの?
A2. 郷土文化財の保存・管理は、認定される前と同様、所有者、活動団体による管理をお願いします。市役所からの支援内容はホームページや市政だより等での情報発信や看板の設置、管理上の助言となります。例えば、修繕等の経費については、所有者もしくは申請者の相談内容に応じて民間等の助成制度等のご紹介もいたします。

Q3. どんなものが郷土文化財の対象になるの?
A3. 以下のリストに全て該当するものが郷土文化財の対象になり、申請資格を有します。

- 文化資源が、法や条例による指定等を受けていない
- 文化財の各類型②に該当する、もしくは地域に根差す生活文化③等
- 文化資源そのものや由来に、独自性もしくは地域的特色がある
- 文化資源が成立してからおおむね20年以上経過している
- 現在、文化資源の保存・継承・啓発活動を団体で行っている
- 地域で、文化資源の保存・継承・啓発活動をおおむね20年以上行っている
- 保存・継承・啓発活動団体は資力を有する

※1 文化財保護法、熊本市文化財保護条例、熊本市文化財保護条例の規定による指定、登録、選定及び認定
 ※2 文化財の各類型は以下の通り

種類文化財	建造物、絵巻、彫刻、工芸品、古文書、考古資料、歴史資料等
有形文化財	芸術、陶器、染織等のわざ
無形文化財	風俗慣習、民謡芸能、民俗技能に用いられる衣服、家屋等
無形民俗文化財	風俗慣習、民謡芸能、民俗技能
記念物	遺跡、名勝地、自然
文化的景観	棚田、里山、集落等
伝統的建造物群	塩町町、城下町、洋風建築群等
文化財の保存技術	屋根瓦葺き、漆器製造等の技術

※3 言語、書道、書画、食文化、伝承地、その他の生活に係る文化

Q4. 認定までの流れ
A4. 令和3年(2021年)5月31日までに受け付けた応募は第1回認定の候補となります。なお、随時募集していますが、申請までの確認調査に期間を要するため早めにご相談ください。

令和3年(2021年)1月4日 熊本市文化政策課

熊本市郷土文化財制度チラシ

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
「文化財保存活用地域計画」の策定検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和5年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の文化財の保存および活用に関する総合的な計画である「文化財保存活用地域計画」策定のために必要な調査等を実施し、計画策定について検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本年度は文化庁が実施する研修に参加し、策定にあたって必要な調査等についての情報収集を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度に「熊本県文化財保存活用大綱」が策定される見込み。「文化財保存活用地域計画」は「大綱」を勘案して作成することが必要となるため、今後大綱の内容の精査・研究を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の保存・活用の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 未登録・未指定の有形文化財の修理への支援策や、所有者や周辺住民等と協働による維持管理や活用について検討する。また、歴史的風致形成建造物や国の登録有形文化財、市指定文化財等への指定を検討する。併せて、無形民俗文化財等の担い手育成を視野に入れた活動団体への支援を継続する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本年度は熊本地震で被災した文化財のうち3件を熊本市指定文化財に指定した(内1件は藤崎八幡宮内の「六所宮の鳥居」)。
 また、未指定の被災文化財については引き続き熊本県被災文化財復旧復興基金を用いての修理の支援を実施し、所有者の負担の大きいものについては民間財団等の助成金を紹介した。
 さらに、無形文化財や無形民俗文化財の担い手育成促進のため、保存継承活動を行なう10団体へ活動費助成を行うとともに、文化財類型に該当しない文化資源についても認定対象とした「熊本市郷土文化財制度」を新たに策定・施行した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



六所宮の鳥居(市指定有形文化財)



木造愚谷常賢像(市指定有形文化財)



菱形八幡宮神像群(市指定有形文化財)
木造女神坐像

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財放火デー等の期間に、各関係機関及び消防組織と協力して、訓練を実施する。また、消防組織による文化財の予防的な査察と啓発を実施するとともに、所有者・管理者と消防組織と行政の三者による協力体制を構築する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度は現地での訓練を実施していない。そのため、本年度はポスター及び文化財所有者に『国宝・重要文化財(建造物)の防火対策ガイドライン』を文化財所有者及び管理者に送付し、周知に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財のパンフレット作成や市ホームページの充実化を図る。文化財や歴史的風致を活用した企画展示や各種講座、イベント等の開催継続や、小中学校における歴史的風致教育等を実施する。また、普及・啓発の担い手でもあるボランティアガイドについても引き続き養成していく。無形民俗文化財の担い手の育成や技術の伝承のため、過去から現在までの記録作成等に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・【再掲】熊本市の維持・向上すべき歴史的風致地区について、熊本市歴史講座で取り上げ、座学とウォーキングを実施した。
- ・熊本博物館にて遺跡発掘速報展を実施した(令和3年12月12日～令和3年2月7日)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【再掲】熊本市歴史講座(R2.10.25 定員20名申込制)



【再掲】歴史ウォーク(R2.11.29 定員20名申込制)



熊本市遺跡発掘速報展
 (熊本博物館にて発掘調査の成果を公開)



熊本市遺跡発掘速報展
 (R2.12.20 ギャラリートーク実施)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
埋蔵文化財の取り扱い	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 開発等に際して、地権者への周知を図るとともに、十分な事前協議を行い、できるかぎり現状保存を図る。免れない場合は、発掘調査を実施して、記録保存を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

区域内が埋蔵文化財包蔵地に当たる場合は、開発等に際し文化財保護法第93・94条に基づく届出・通知を求め、計画内容によって確認調査、工事立会等の処置を行い、遺跡に影響を与えるような工事の場合は記録保存のための発掘調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



R3.1.28 陳内上ノ園遺跡群確認調査1
重機による掘削状況



R3.1.28 陳内上ノ園遺跡群確認調査2
遺跡が残っていないことを確認



R3.1.26 戸坂遺跡 工事立会
工事による遺跡への影響がないことを確認

		評価対象年度	令和2年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
国の「歴史まちづくり支援」熊本市の計画認定	令和2年6月25日	熊本日日新聞	
「くまもと歴史まちづくり計画」に寄せて 古い建物誇りの源泉	令和2年9月16日	熊本日日新聞	
歴史継承のまちづくりを 熊本市計画認定受けフォーラム	令和2年10月11日	熊本日日新聞	
歴史的風致形成建造物に30棟認定	令和2年10月30日	TKU	
町家活用へテナント誘致 新町・古町地区	令和3年1月4日	熊本日日新聞	
「町屋」活用肝いり推進 中央区新町・古町	令和3年1月8日	熊本日日新聞	
古地図で歩く 寺院参詣者商店にぎわう	令和3年1月22日	熊本日日新聞	
熊本城の城下町 町屋の景観残すため実証実験へ	令和3年2月11日	TKU	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致に関連する報道・・・新聞に掲載された記事数 6件、ニュースで取り上げられた件数 2件			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	R2年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第5回 熊本市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:	
(コメントの概要)	
※会議後、ご意見等を記載する予定	
(今後の対応方針)	